

ふるさと応援クーポンの発行

100万円

令和7年度の検証結果

対象	配布済	未受領
168人	161人	7人

- ・アンケートの回答人数は7人、回答率は4.3%
- ・利用店舗の順位
1位がコンビニ
2位がファーストフード店
3位が酒・食料品店



Q 敬老祝い品は廃止した一方で、二十歳の集いのふるさと応援クーポンを発行する予算案が計上されている。公平性の基準が必要だと考えるが、町長の考えは。

A 高齢化の進展により対象者が増加するため、持続可能な制度とする観点から見直しをして廃止となった。一方、ふるさと応援クーポンは、人生の節目を迎える若者に対して地域のつながりを感じて欲しいと考えたものである。令和7年度に始めた事業であり、しっかりした効果が見えていないため、継続して計上した。公平性については、政治判断である。



敬老会のアトラクション

100万円

Q 敬老会での記念品の配布が廃止され、新規でアトラクション委託料が計上されている。説明を。

A 本町の高齢者人口の増加や平均寿命が上昇している現状を踏まえた。敬老会を高齢者の皆さまの外出のきっかけとし、より楽しいひと時をお過ごしいただける事業としたい。



Q 敬老会に来られない方について、どのように考えているのか。

A 参加された方がその場で楽しめる内容に充実させたいとの考えのもと、事業内容の見直しを行った。会場まで歩いて来られない方には、送迎バスをご利用いただきたい。

